



つくしぐみだより

2023.10

先日はクラス懇談会にご出席頂きありがとうございました。

クラスで大事にしている「ひとりあそび」また「今後の子どもたちの様子」について保護者のみなさまと共有することができ、有意義な時間となりました。

当日お子さんの体調不良等で欠席された方もおり、その共有ができず残念ではありましたが、今後、個人面談や保育参加もありますので、そうした機会を利用してお子さんの様子を理解、共有していけたらと思います。個人面談については後日別紙にてご案内致します。また、保育参加につきましては担任までご相談下さい。

【この時期の子どもの心の成長と対応について】



6月のクラスだよりに「イヤイヤ期」について掲載致しました。

先月のクラス懇談会では「ひとりあそび」から少しずつ「友だちとの関わり」が増えてくる事をお話させて頂きました。そうした「関わり」が増えるからこそ、今後の姿やその対応について簡単にですがご紹介致します。

○2歳前後はモノや食事について、あるいは周囲に対して「いや」「やめて」「いらぬ」をすることが多い
⇒「いや」「やめて」「いらぬ」等は自我/所有感の発達（自分の線引きの明確化）であり、自己表現の練習です。「これがいい」「これをしたい」は意志や思考を必要とする複雑な物ですが、「いや」「いらぬ」は単純で表現しやすいです。

これを練習しておくことで、世界に働きかける主体としての力、「自分を表現する」「イヤなことにイヤと言う」基礎が育ちます。

○「貸して」⇒「いいよ」だけでなく、「いやだ」「あとで」等もその時の自分の感情に基づいて言えると良い
⇒「たたいてごめん」「いいよ。一緒に遊ぼう」という儀式を覚えさせるのではなく、「叩かれて痛かったね。『痛いから叩かないで』『やめて』って言おうね」等感情を出す、伝える練習をするといいです。

⇒「作った物を壊されて嫌だったの？そういう時は『壊さないで』って言おうね」→暴力（叩く等）で解決、表現するのではなく、思いを言葉にして相手に伝える練習をしていきましょう。

※こうしたやりとりは主張と交渉の第一歩となります※



○言葉でのやり取りは親子の関係の中でも是非!!

⇒保育園でも保育士が手にしている物をスーッと黙って取ってしまう子がいます。

そんな時はそのままにはせず、「これ、使いたいの？そういう時は『かして』って言うんだよ」と伝えてから渡すようにしています。

ご家庭での関係の中で、こうしたやり取りがないままだと「勝手に取ることが当たり前」になってしまいます。大人との関係ならまだ良いですが（ホントはよくないですが）、同年代の友だちの物を黙って取ってしまったら……。もう、想像がつきますよね。

ご家庭でも日頃から「やって当たり前」ではなく、互いにコミュニケーションしながら、伝える練習を行うようにして下さい。